

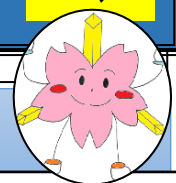


2年国語「ニャーゴ」の音読会 子供たちの発表を覗いてみました！

9月25日（金）の4時間目、2年3組の教室では、国語の音読発表会が行われていました。子供たちはグループで自分たちの好きな場面を選び、それぞれの登場人物になりきって生き生きと発表してくれました。同じ「ニャーゴ」という猫の鳴き声も、場面や登場人物によって声の発し方は変わります。それぞれの班が工夫して声色を変えたりジェスチャーを付けたりして読む姿は、見ていてとても楽しいものでした。また、それぞれの班の発表が終わる度に、たくさんの子供たちが挙手をして感想や気持ちを発表してくれました。目の付けどころが子供によって違い、これも素敵だなと思ったところでは。 (写真右：班で表情豊かに音読していきます、左：聞いていた児童が感想を述べています)



前途洋々



6年国語で研究授業を実施しました！

9月30日（水）の5時間目、6年2組で国語の研究授業を実施しました。授業者はもちろん担任である一村先生です。単元名は「模型のまち」で、私のお気に入りの物語文でもあります。ここでは、表現に着目して読み、考えたことを伝え合います。主人公は広島のまちに引っ越してくるのですが、そこで出会った人たちとの交流により、自分の中では遠い存在であった「戦争」や「原爆」が次第に現実のものとして感じられるようになるプロセスが、様々な表現の工夫を通して描かれています。6年生は長崎への修学旅行を控えています、現在様々な準備を進めています。6年生自身が、この物語の主人公と同じようなプロセスをたどりながら、戦争を現実のものとして感じていくのではないのでしょうか。今回は、不知火小学校の原武先生に講師としておいでいただき、具体的なアドバイスを頂戴しました。また、授業後の研究会ではいつものように大変活発な協議が行われました。子供たちの意見発表も素晴らしかったので、今後の授業の展開も一層楽しみになりました。

(写真左：授業研究会の様子です 右：子供たちがグループで交流している様子です)



(こちらも6年ですが)調理実習を覗きました！

9月28日（月）の午前中、6年1組が調理実習をしていました。おいしそうな香りにつられて様子を見に行くと、各班に分かれて手際よく作業を進める児童の姿が……。作っていたのは野菜の「いろどり炒め」。材料としてはピーマンやにんじん、タマネギやハムが使われていました。先生たちの指導を受けながら、器用に包丁を使う姿を見てとても頼もしく思いました。また、私も試食させていただきました。味付けもよく、切った野菜の形もきれいで大きさもそろっており言うことなしでした。家でもぜひ作ってほしいですね！6年1組のみなさん、ごちそうさまでした！

